

「㊦意欲を持って学ぶ子」

「㊦仲良く高め合う子」

「㊦強い心と体を鍛える子」

学校だより

屏風山

びょうぶさん

令和7年7月18日

瑞浪市立 稲津小学校

稲津小学校ホームページへのリンク→



前期前半 72日間の宝物

校長 加藤 美香子

72日間の前期前半が今日で終了しました。今年は例年になく5月後半から暑い日が続きました。6月後半からは、熱中症指数が高くて、20分休みも昼休みもグラウンドでは遊べない日や傘さし下校をする日も多くありました。このような中でも、保護者の方々、地域の方々に温かく見守られて、無事に夏休みを迎えることができたことに感謝申し上げます。

夏休み前集会では、こんな話をしました。

72日間の前期前半（4か月）が今日で終わります。みなさんは、この72日間、どんな学校生活を送ることができましたか？

始業式で、「3つの大切」について話をしました。

1つ目は、「ルールやマナーを大切にする」です。4月には山びこ委員会の提案で「あいさつ」に取り組みました。山びこ委員さんは、今日まで1日も欠かさずに玄関や階段下に立ち、元気なあいさつで全校に声をかけました。休み時間に廊下ですれ違ふと「こんにちは」とあいさつする姿が本当に増えました。お客様も毎回「あいさつがよくて、とても嬉しいよ」と教えてくださいます。5月には環境委員会の提案で「靴そろえ」に取り組みました。この写真は、7月の様子です。低学年の靴箱もきれいにそろっています。靴だけでなく、傘立ても傘もきれいにしまわれています。5月の取組が継続しているだけでなく、傘の整頓にも広がっていることがわかります。

2つ目は、「自分と仲間を大切にする」です。自分のよさや仲間のよさをたくさん見つけられたでしょうか？「4月よりも帰りの会でのよいこと見つけが増えた」、「ペア掃除で、丁寧に掃除の仕方を教えることができた」などの話を聞きました。体育の授業では、「うまいよ」や「惜しいよ」と仲間に声をかける姿が、国語や算数の授業では「〇〇さんに似ていて…」と仲間の発表をよく聞いているからその発言がありました。どれも、仲間を大切にしている姿です。



3つ目は、「値打ちある活動を大切にする」です。保健安全委員会の提案で、安全な廊下や階段歩行に取り組みました。廊下歩行に課題を感じて取り組んだことが、取組期間終了後にも「走らないよ」「歩くよ」の呼びかけへつながっています。図書委員会は、「おすすめの本キャンペーン」を企画しました。好きな本だけでなく、各学年のお勧めの本を読んでもらいたいという思いで、楽しんで取り組めるようにパズルを完成させる方法を考えました。自分たちの思いを大切に自分たちで考え取り組むこと、取組期間が終わってもよりよい生活を目指して呼びかけを続けることは、値打ちある活動そのものです。

このようなみなさんの成長は、稲津小の大切な宝物です。夏休みが明けても、よりよい生活を目指して自分たちで考え活動していきましょう。

明日から40日間の夏休みが始まります。「安全な生活」「あいさつ」の2つの「あ」に気を付けて過ごしてほしいと思います。また、夏休みだからこそできる体験やじっくり時間をかけて取り組むことにチャレンジしてほしいと思います。8月28日（木）には、元気に会いましょう。それでは、よい夏休みを過ごしてください。